

令和4年度 江戸川区南小岩第二小学校 学校関係者評価 中間評価用報告書

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 考える子</li> <li>○ 思いやりのある子</li> <li>○ 健康な子</li> </ul>	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	○「温かい心(敬愛・思いやり・感謝)」「確かな学力」「地域への貢献性」を育てる学校 ○よく聞いて、見て、話し合って、体験を生かして考える子。互いに助け合い、人、物、自然を大切に育む子。心身ともにたくましく、めあてをもってねばり強くやりとげよう。 ○子供を育む信念をもつ教職員。児童・保護者・地域の人々、社会、自然とのかかわりの中で、様々な課題に気付く教職員。課題を解決するために、主体的に考え、新たな発想を生み出せる教職員。考えや発想を適時に実践に移すとともに、自己評価を適切に行い研鑽する教職員
	前年度までの学校経営上の成果と課題	<成果>基礎基本の定着に向けた取組。「主体的、対話的で深い学び」の全教科での実施。授業の工夫、改善に向けた取組。体力向上に向けた取組。学校の安全管理体制の継続。 <課題>基礎基本の定着及び「主体的、対話的で深い学び」のさらなる実践。児童の体験的活動、自主活動(あいさつ運動等)のさらなる推進。健全育成に関する取組の周知。特別支援教育の一層の促進及び保護者への周知。	

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価			学校関係者評価		年度末に向けた改善策
					取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
いきいきと学ぶ学校づくり	①確かな学力の向上	・7つの主要事(取組)に対しての学校の組織的な対応による取組の実施・改善・充実	・「確かな学力向上プラン」による授業改善、二小スタンダード(学習のきまり)徹底…全学年、毎日・ALTの効果的活用…毎週・「各教科等の連携教育プログラム」を踏まえた学習指導の実施…全学年、一人一台端末の活用、eライブラリアドバンスの推奨、朝学習での取組…全学年・放課後補習教室(外部委託)との連携、放課後補習(スネクリタイム)の実施…全学年・算数少数指導による個に応じた指導の充実…毎日	・ベネジックドリルによる検証各学年年平均10ポイントアップ ・保護者満足度90%以上 ・スネクリタイム年35回実施率100% ・家庭学習強化週間年3回実施 ・eライブラリ全児童活用率100%	A	B	○ベネジックドリルの結果に基づき、課題のある内容について授業等で行った。家庭学習強化週間にeライブラリの活用を位置づけ、端末の活用が広がっている。●より効果的に補習教室を活用するために、個々の児童の苦手分野を調査し、集中して学習できるように講師と連携することが課題である。	A	二小スタンダード、朝学習、放課後学習の充実と併せて、家庭学習がしっかりと功を奏し、目標が達成することを期待する。学力向上、ベースアップにつながる取組と思う。継続して取り組んでほしい。eライブラリの更なる活用を願う。取組への実施や教員の授業に対する熟意は伝わっている。	・確かな学力向上プランによる授業改善…振り返りを通して、家庭学習がしっかりと功を奏し、目標が達成することを期待する。 ・各教科等の連携教育プログラムをふまえた学習指導の実施…端末の効果的活用・eライブラリアドバンスの実施…個別学習の充実 ・放課後補習教室、放課後補習の活用(復習から定着を目指す)・算数少数指導による個に応じた指導の充実:個に応じた学習の更なる充実
	②体力の向上	・「運動意欲の向上」に向けた取組の実施・充実	・二小タイム(運動遊び)の実施…毎週・児童の主体性重視の体育授業、補助運動の実施…全学級・外遊び、縄跳びの奨励…通年・各学期の行事(運動会、持ち入大会、大綱大会)及び練習期間の設定、継続実施…每学期・小岩二中、篠玉小、南小岩小4校による食育での小中連携…每学期	・二小タイム等実施率100% ・保護者満足度90%以上 ・各行事及び練習期間実施率100% ・食育の促進、よつばメニュー実施率100%	A	A	○毎週の二小タイム(運動遊び)は、すべての児童が運動し取り組むことができている。竹馬・輪車は、1学年が下学年を教える形にして、意欲的に活動できている。5、6年生生合同の水泳大会や全学年による持ち入大会など、児童が自ら目標を立てて体力向上に向けた取組を行っている。●運動の機会を確保している。	A	運動会では、日頃の取組が児童の活躍で確認できた。二小タイムは、とても活発でよい活動なので、今後も続けたい。コロナ禍前と比べ、体を思いきり動かす機会が減ってきていると思うので、体力向上に引き続き取り組んでほしい。	・運動会…楽しく運動するための更なる工夫・児童主体性重視の体育授業、補助運動の実施…わらわら明確にした体育等の授業・各学期の行事及び練習期間の設定、継続実施…自主的な活動への支援、練習時間の確保・食育での連携…事前事後の指導の重視
	③読書料の更なる充実	・読書を通じた探究的な学習の実施・充実	・読書科年間計画に基づく探求的学習実施…毎学期・朝読書の実施、読み聞かせボランティアの活用…毎週・学校図書館司書の活用、図書室の整備、蔵書の適切な管理…月2回・読書週間の実施による読書意欲の喚起…年2回	・読書科年間計画実施率100% ・保護者満足度90%以上 ・朝読書毎週2回以上、及び読み聞かせボランティア等 ・読書週間の実施…月2回 ・読書週間の実施による読書意欲の喚起…年2回 ・学校関係者評価A	A	A	○月に3回程度の読み聞かせボランティアによる読み聞かせを実施している。司書による図書室の使用に関するオリエンテーションを全学年対象に実施することができた。春・秋2回の読書週間では、互いに本を紹介するなどの活動に全児童が取り組んでいる。●読書活動の充実をさらに進める。	A	読書の習慣が付くよう取り組んでほしい。読み聞かせボランティアの方々に感謝している。教職員の取組に共感している。	・読書科年間計画に基づく探求的学習実施…ねらいを明確にした読書・朝読書の実施、読み聞かせボランティア等の活用…継続実施・学校図書館司書の活用、図書室の整備、蔵書の適切な管理・担当との連携強化・読書週間の実施による読書意欲の喚起…全職員で呼びかけ
	④体験的活動、自主活動の推進	・児童の体験的活動及び自主活動の促進による豊かな心の育成	・異学年交流(たてわり班、きょうりゅう)の実施…毎学期・全校清掃朝会実施…毎月・高学年全員による数隊隊の実施…通年・あいさつ名人、あいさつ隊等挨拶運動…通年	・異学年交流年間計画実施率100% ・高学年数隊隊全参加、区民祭り等への参加 ・挨拶運動通年実施の継続 ・保護者満足度90%以上	A	A	○きょうりゅう級での二小まつりやたてわり班遊びを実施した。6年生が自主的に毎朝あいさつ隊の活動を行っている。区民まつりのために、数本の演奏動画を撮影し提出した。●児童の考えを大切に生かす。	A	あいさつ名人の教え合いは、異学年交流の充実の功で児童が穏やかで落ち着いていて、体験的活動の充実を難しく思うが積極的に取り組んでほしい。数隊の音が家で届くと心に心地よさを感じる。	・異学年交流の実施…1学年の指導の充実・全校清掃朝会実施…意義ある実施・高学年による数隊隊の実施…意欲の向上・あいさつ名人、あいさつ隊等挨拶運動…挨拶の習慣化へ
特別支援教育の推進	⑥共生社会の実現に向けた教育の推進	・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副障交流、交流及び共同学習の充実	・「学校2020レガシー」における地域人材、外部人材の活用…年2回 ・ユニバーサルデザインの視点での学習環境整備…全校・支援シーによる個に応じた対応…全対象児童 ・エンカレッジルーム(にこころルーム)の効果的活用…通年・副障交流等の計画的実施…全対象児童	・「学校2020レガシー」に係る人材活用計画100%実施 ・教室環境、言語環境整備100% ・対象児童保護者の満足度90%以上 ・保護者への周知70%以上 ・副障交流等の実施率100%	A	B	○「学校2020レガシー」に基づき、全児童を対象としたオリパラ講演を実施することができた。エンカレッジルームの活用し、対象児童がより学習するための環境を整備できた。●地域人材・外部人材の一層の活用を進める。	A	今後ますます求められる内容であるので、子供のこころから考えていくこと意義があると思う。対象児童の保護者への周知や理解が進むとさらに。	・「学校2020レガシー」における地域人材、外部人材の活用…実施後の振り返りの充実・ユニバーサルデザインの視点での学習環境整備…継続実施・支援シートによる個に応じた対応・個の内容確認・エンカレッジルームの効果的活用…環境整備・副障交流等の計画的実施…計画的な実施継続
	⑦子供たちの健全育成	・江戸川区子ども権利条例に基づき子供たちの健全育成に向けた取組	・「hyperQ-U」の実施及び効果的活用、道徳教育の充実、いじめ防止授業の実施…全学級・校内委員会の効果的実施、全職員での支援体制の構築…毎月・特別支援教育に係る教員の指導方針向上に向けた研修会の実施…年3回	・校内委員会毎月実施、対象児童への実施率100% ・保護者への周知70%以上 ・特別支援関連研修会参加率100%	A	A	○「hyperQ-U」に係る校内研修会を実施し、活用方法などについて教職員の理解を深めることができた。いじめ防止に向けた研修会やスクールカウンセラーによる研修会などを通して、指導方針向上を図っている。毎週の連絡会で、児童の様子を共有することができた。	A	適切に対応していると考え、今後も目指す健全育成の目標達成のために、家庭・地域と、共に育てることを目指していきたい。	・「hyperQ-U」の実施及び効果的活用、道徳教育の充実、いじめ防止授業の実施…結果の活用・校内委員会の効果的実施、全職員での支援体制の構築…内容の理解と周知・特別支援教育に係る教員の指導方針向上に向けた研修会の実施…計画的実施
	⑧巡回指導の充実	・関係教員等の適切な連携による指導の充実	・関係教員等、特別支援教育コーディネーター、特別支援教室専門員及び各担任との情報共有、個別指導への活用…毎日・保護者への理解の促進、PR…毎学期	・情報共有実施率100% ・当該保護者満足度90%以上	A	A	○巡回指導教員、特別支援教育コーディネーター、特別支援教室専門員及び各担任との連携により、必要児童を適切な個別指導につなげている。●より一層の保護者への周知や啓発が課題である。	A	支援の必要な児童に、教室から離れた定した環境を提供できているところがいい。対象児童等に、学校と必要児童を適切な個別指導につなげている。●より一層の保護者への周知や啓発が課題である。	・巡回指導教員、特別支援教育コーディネーター、特別支援教室専門員及び各担任との情報共有、個別指導への活用…毎日継続・保護者への理解の促進、PR…毎学期継続
学校と家庭、地域、関係機関との連携強化	⑨学校関係者評価の充実	・教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施・改善	・各校アンケート実施後の結果周知1か月以内 ・学校関係者評価に係るPDCAサイクルの年間実施 ・保護者の満足度90%以上 ・学校関係者評価A	A	A	○学校公開の保護者からのアンケート結果を周知し、保護者と学校関係者との連携を図るとともに、今後の教育活動の改善にも活用している。●アンケート実施後の結果周知を1か月以内に行う。	A	学校公開の保護者との関わりが薄れている。児童に対する周知を願う。児童による方針の修正及び追加、年度末評価の中実による次年度改善策の立案…評価の実施と改善計画作成、計画どおり実施	・保護者アンケートの実施、結果の周知…各行事実施後公表、教職員及び学校関係者中間評価による方針の修正及び追加、年度末評価の中実による次年度改善策の立案…評価の実施と改善計画作成、計画どおり実施	
	⑩関係機関との連携	・生活指導連絡協議会での情報共有 ・いじめ、不登校の未然防止、早期解決に向けた対応の強化	・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの連携、適切な活用…毎週・課題把握時点での情報共有、生活指導連絡会、各課題対策委員会の実施…毎週、適時・SNS東京ルールの実施、家庭との連携…毎学期	・情報共有率100% ・当該保護者満足度90%以上 ・事象把握後1週間以内に行動、成果の確認 ・SNS東京ルールの実施、保護者との連携100%	A	B	○生活指導連絡協議会での情報共有やスクールソーシャルワーカーの活用などを通して、課題把握や迅速な対応に努めている。●不登校児童への対応をより強化することが課題である。	A	重要案件として、対応していることは分かる。関係機関との連携の充実を図り、早期対応を願う。	・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの連携、適切な活用…効果的な活用・課題把握時点での情報共有、生活指導連絡会、各課題対策委員会の実施…内容の周知徹底・SNS東京ルールの実施、家庭との連携…毎学期継続
	⑪地域との共育・協働	・学校応援団を始めとする地域人材、外部人材との連携 ・学校情報の積極的発信	・地域行事、PTA行事への協力…全員1回以上 ・ホームページ等による情報公開…毎週・学校応援団との連携…毎月	・保護者満足度90% ・ホームページ等による情報発信率100% ・学校関係者評価A	A	A	○毎週の全校朝会での校長講話の発信を通して、学校の指導方針を広く周知している。PTAの行事には多くの教職員が参加し、互いに連携を図っている。	B	地域行事等が中心に、地域とのかかわりが薄れている。PTA行事等を中心に、地域とのかかわりが深まることが期待している。	・地域行事、PTA行事への協力…全員1回以上・ホームページ等による情報公開…毎週実施継続・学校応援団との連携…毎月実施継続
特色ある教育の展開	⑫「学校における働き方改革プラン」に基づく取組の実施	・C4thの積極的活用、ペーパーレス推進…毎日 ・文書起草、各分掌ルートによる進行管理…各分掌長 ・会議の効率的な実施及び時間短縮(15分以内) ・回次削減の継続…毎月 ・スクールサポートスタッフの活用100% ・全教員の残業時間40時間以内 2回・教科担任制の推進、協働体制…全学年 ・育児休業等休暇、休業制度の活用促進…全職員(男性含む)	・C4thの活用率100% ・文書起草の継続実施率100% ・会議時間、回次の削減継続100% ・スクールサポートスタッフの活用100% ・全教員の残業時間40時間以内 2回・教科担任制の推進、協働体制…全学年 ・保護者満足度90%以上	A	A	○C4thの活用や文書起草のシステム化の徹底を通して、会議の半減、短縮が可能になると感じ、問題に、積極的に取り組んでいくことにしている。問題に、積極的に取り組んでいくことにしている。問題に、積極的に取り組んでいくことにしている。問題に、積極的に取り組んでいくことにしている。	A	コロナ禍、猛暑による熱中症対策など、多様な対応に対する取組は充実していると感じ、問題に、積極的に取り組んでいくことにしている。問題に、積極的に取り組んでいくことにしている。問題に、積極的に取り組んでいくことにしている。	・C4thの積極的活用、ペーパーレス推進…継続実施・文書起草、各分掌ルートによる進行管理…各分掌長・会議の効率的な実施及び時間短縮…回次削減の継続…会議の効率的な実施及び時間短縮(15分以内)、回次削減の継続…副校長による進行管理継続・スクールサポートスタッフの活用100%活用…全学年継続・定時退勤日の実施…月2回継続・教科担任制の推進、協働体制…全学年継続・育児休業等休暇、休業制度の活用促進…全職員	
	⑬教員の授業力の向上	・校内研究の活性化 ・教員研修のさらなる充実 ・ICTの効果的活用	・週ごとの指導計画に基づく教育活動の計画的実施及び反省の記載…毎週 ・「主体的、対話的で深い学び」全教科で研究、実施、管理職の授業観察による検証…全教員 ・ICT関連教員研修会…毎学期 ・各授業におけるICTの効果的活用…毎日	・週ごとの指導計画活用率100% ・校内研究授業実施、区小教研全教員参加、11月全書研全国大会への参加100% ・ICT研修会参加率100% ・全学級ICT活用率100% ・保護者満足度90%以上	A	B	○「主体的、対話的で深い学び」の視点で日々の授業づくりに取り組むとともに、全教員が研究授業を実施する。管理職による授業観察等の指導を受けるなどして授業力の向上に取り組んでいるところである。●ICTをより効果的に活用することなどの課題がある。	A	全教員の研究授業が行われ、研究会の度に、全員が振り返りを行い、日々の授業に生かしていることは良いと感じている。また、段階を経た経験者の後進育に取り組むこと。また、段階を経た経験者の後進育に取り組むこと。また、段階を経た経験者の後進育に取り組むこと。	・週ごとの指導計画に基づく教育活動の計画的実施及び反省の記載…毎週実施継続 ・「主体的、対話的で深い学び」全教科で研究、実施、管理職の授業観察による検証…全教員実施継続 ・ICT関連教員研修会…毎学期計画通り実施 ・各授業におけるICTの効果的活用…毎日実施継続
	⑭安心、安全な学校づくり	・危機管理にマニュアル(感染症・災害・けが・アレルギー等)に基づく全職員の協力的体制 ・安全指導の徹底	・各種訓練の計画的実施…毎月 ・週ごとの指導計画への安全管理の記載…毎週 ・安全指導、安全点検実施、毎月100% ・危険箇所への即時対応100% ・保護者満足度90%以上	・各種訓練実施率100% ・週ごとの指導計画への記載100% ・安全指導、安全点検実施、毎月100% ・危険箇所への即時対応100% ・保護者満足度90%以上	A	A	○各種避難訓練は、感染症対策を実施しながら綿密に計画を立て、それによって対応を取り進めることができている。年度当初のアレルギー研修やAED研修など、全職員が協力して安全への意識を高める取り組みを行っている。	A	安全的な指導はよく行き届いていると思う。様々な危機に対して各種訓練を通して、突発的な対応による児童自身が判断して行動できるようにする良いと思う。	・各種訓練の計画的実施…毎月実施継続 ・週ごとの指導計画への安全管理の記載…毎週継続継続 ・学校予算の効率的、効果的執行…毎学期継続継続 ・安全指導の徹底、安全点検実施…毎月実施継続 ・施設、感染症防止対策の徹底…毎日継続継続